

## 【 新任畜産技術職員（3） 】

1 開催期日 令和8年10月13日（火）～10月15日（木） 3日間

2 講義日程

月日	時間	講義名及び講師の所属氏名
10月13日 （火）	13:10 ～13:30	開講式
	13:30 ～14:30	飼料をめぐる情勢と課題 畜産局 飼料課 飼料生産計画班 伊勢田 綾香
	14:45 ～15:45	酪農をめぐる情勢と最近の課題 畜産局 牛乳乳製品課 生乳班 係長 坂元 希理
	16:00 ～17:00	肉用牛をめぐる情勢と最近の課題 畜産局 企画課 経営安定班 酒井 美海
10月14日 （水）	8:45 ～10:15	家畜衛生の現状と対策及びHACCP関連 消費・安全局 動物衛生課 保健衛生班 係長 田村 響平
	10:30 ～12:00	課題討論 「畜産経営における収益性向上のための効率的な取組について」 独立行政法人家畜改良センター 企画調整部
	13:00 ～14:45	企画調整課 技術協力室長 藤澤 保
	15:00 ～17:00	現地研修「独立行政法人家畜改良センター」 独立行政法人家畜改良センター 企画調整部 企画調整課 技術協力室長 藤澤 保 技術協力室 井川 貴絵
10月15日 （木）	8:45 ～ 9:45	畜産関係主要法令 畜産局 総務課 総括班 係長 西口 裕貴
	10:00 ～11:00	アニマルウェルフェアの現状について 畜産局 畜産振興課 アニマルウェルフェア推進班 専門官 遠藤 聡子
	11:15 ～12:15	牛トレーサビリティ制度について 消費・安全局 畜水産安全管理課 牛トレーサビリティ企画班 専門官 梅村 幸子
	13:15 ～14:15	畜産環境をめぐる情勢 畜産局 畜産振興課 環境保全班 係長 車谷 泰子
	14:30 ～15:30	養豚・養鶏・特用畜産の現状と課題 畜産局 畜産振興課 中小家畜振興推進班 専門官 菊田 琢磨
	15:30 ～15:45	閉講式

事情により講師及び時間を変更する場合があります。

### 3 開催場所（宿泊等の問合せ先）

独立行政法人 家畜改良センター 中央畜産研修施設

住 所 〒961-8511 福島県西白河郡西郷村大字小田倉字小田倉原 1

T E L 0 2 4 8 - 2 5 - 7 0 6 0

F A X 0 2 4 8 - 2 5 - 6 7 5 5

### 4 受講対象者の範囲

国、地方公共団体、畜産関係団体又は農協等生産者団体等の職員で畜産職域に配属されて原則3年以内の者、農業に従事する者

### 5 受講者数 40名程度

### 6 受講者の留意事項

(1) 受講者は、宿泊等については研修開始10日前までに中央畜産研修施設へ直接申し込むこと。

なお、領収書の宛先は原則個人名宛てになっているが、変更を希望する方は、宿泊届提出の連絡事項にその旨書き込むようにすること。

また、事情により欠席することとなった場合は、速やかにその旨を研修施設に連絡すること。

(2) 研修施設への入所は、研修初日の9時00分～12時00分までに行うこと。

なお、家畜伝染病予防のため、研修施設に入所する当日は、極力、畜産関連施設等への訪問は避けること。

(3) 受講者は、共済組合員証（健康保険証）、筆記用具、寝間着等を持参すること。

(4) 受講生は、課題討論※（10月14日（水）実施）に関して、グループ討論の際の発言用資料（A4版タテ1枚程度）の作成等事前準備をしておくこと。

具体的には、受講者決定通知時に別途連絡する。

#### ※課題討論について

(目的) 設定課題について、現状や課題の整理及び多面的な対応策の検討を行い、課題解決に向けて論理構築等を訓練・学習することをねらいとして実施します。

(実施方法) 受講生はグループに分かれ、事前提出資料等に基づいて各グループで討論し(グループ内討論において各自作成資料の発表の場合あり)、その後、全体で各グループの発表を行い、受講者及び助言者と意見交換を行います。

(その他) 各受講生の事前提出資料及び各グループ発表資料は、受講者全員に配布します。

本研修に関する問合せ先

農林水産省畜産局総務課調整班 宮本

TEL 03-6744-0568 (ダイヤルイン)